

○募集要項○

募集人員(予定): 内科 4 名
耳鼻いんこう科 2 名
麻酔科 2 名

選考試験: (1)方法: 面接および小論文
(2)日時: 専門医機構のスケジュールに準ずる
(3)場所: 滋賀県立総合病院

身分: シニアレジデント (滋賀県会計年度任用職員)
給与: 研修医の身分による報酬
1年目月額 おおよそ 398,000 円に諸手当別途支給

健康保険: 有り(社会保険加入)

当直: 約 1~2 回/月(翌日勤務は 11 時で終了)
休暇: 週休 2 日、夏季休暇 6 日、年末年始各 3 日、
年休 1 年目 10 日、2 年目 11 日

住居: 職員宿舎あり(病院まで徒歩 3 分)
※希望者多数の場合は入居いただけない
場合もあります。

1K、(面積: 26.40 平方メートル)、
使用料月額: 約 7,200 円 (共益費別途)

○病院見学○

実施時期: 随時

受付方法: 下記フォームよりお申し込みください。
見学日およびスケジュール等調整します。

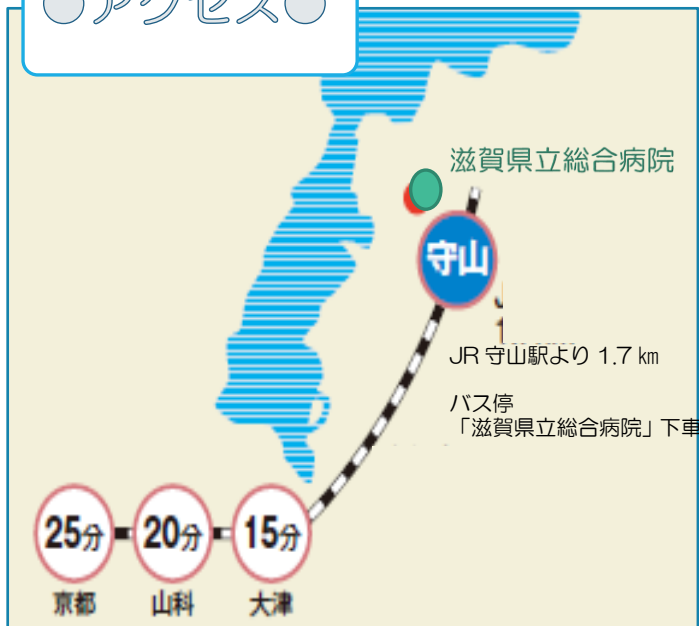
問合せ・申込み: 総合病院レジデントセンター

Mail resi-center@mdc.med.shiga-pref.jp
TEL 077-582-8034(総務課直通)

1日で1~2つの診療科の見学ができます。
職員宿舎の見学もできます。



○アクセス○



○専攻医在籍状況(令和6年4月時点)○

※内科専門研修プログラムにて1名協力施設にて研修中。

「-」は当院に基幹プログラムがない診療科です。

| | 当院基幹 | 他院基幹 |
|-----------|------|------|
| 血液内科 | 0 | 0 |
| 糖尿病・内分泌内科 | 0 | 2 |
| 消化器内科 | 3 | 0 |
| 呼吸器内科 | 0 | 0 |
| 脳神経内科 | 2 | 0 |
| 循環器内科 | 1 | 0 |
| 免疫内科 | 1 | 1 |
| 腎臓内科 | 2 | 0 |
| 外科 | - | 2 |
| 呼吸器外科 | - | 0 |
| 脳神経外科 | - | 0 |
| 乳腺外科 | - | 1 |
| 整形外科 | - | 1 |
| 泌尿器科 | - | 1 |
| 耳鼻いんこう科 | 0 | 1 |
| 皮膚科 | - | 1 |
| 麻酔科 | 3 | 1 |
| 形成外科 | - | 1 |
| 眼科 | - | 1 |
| 放射線治療科 | - | 0 |
| 産婦人科 | - | 1 |
| 合計 | 12 | 14 |

滋賀県立総合病院
Shiga General Hospital

〒524-8524
滋賀県守山市守山5丁目4番30号
電話 077-582-5031
当院ホームページ <https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/>

2024年4月発行



2025 年度

滋賀県立総合病院



専攻医募集要項

診療科

消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、免疫内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、老年内科、外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、緩和ケア科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科、精神科、救急科、小児科

当院基幹プログラム

・内科専門研修プログラム ・耳鼻いんこう科専門研修プログラム ・麻酔科専門研修プログラム

各プログラム連携施設

【内科】

滋賀医科大学医学部附属病院、大津赤十字病院、彦根市立病院、近江八幡市立総合医療センター、済生会滋賀県病院、高島市民病院、公立甲賀病院、国立病院機構東近江総合医療センター、長浜赤十字病院、済生会守山市民病院、京都大学医学部附属病院、国立研究開発法人国立循環器病研究センター、天理よろづ相談所病院、日本赤十字社和歌山医療センター、高槻赤十字病院、北野病院、医仁会武田総合病院、独立行政法人国立病院機構京都医療センター、赤穂市民病院、京都民医連中央病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、京都桂病院、学校法人大阪医科薬科大学、大阪医科薬科大学 三島南病院、大阪公立大学医学部附属病院、大阪府済生会茨木病院、大阪赤十字病院、福井赤十字病院、京都市立病院

【耳鼻いんこう科】

大津赤十字病院、京都大学医学部附属病院、日本赤十字社和歌山医療センター、大阪赤十字病院、倉敷中央病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、関西電力病院、北野病院

【麻酔科】

京都大学医学部附属病院、大津赤十字病院、市立大津市民病院、医仁会武田総合病院、京都桂病院

- 病床数…535 床
- 1 日平均外来患者数…926 名
- 年間総手術数…8699 件
- 1 日平救急外来患者数…13 件
- 常勤医師数…144 名
- 1 日平均入院患者数…379 名
- 平均在院日数…12.1 日（緩和ケアを除く）
- 年間救急車搬入台数…3434 件

※常勤医師数：令和 6 年 4 月時点 他：令和 5 年度実績

医学生・初期研修医の皆さんへ

滋賀県立総合病院総長・病院長 足立 壯一



当院は滋賀県唯一の県立病院であり、都道府県がん診療連携拠点病院として、成人病センター時代から、がん、虚血性心疾患、脳卒中、糖尿病など各分野の専門医、指導医が在籍しており、高度医療を行ってきました。2021年4月からは総合病院として救急専門医を招聘し、数多くの救急症例（昨年度の救急車受け入れ台数は3700台以上です）も経験できるようになっています。2025年1月には、小児保健医療センターと統合し、数多くの小児症例の手術、診療を総合病院で行うことになります。

また、今年度からは若手医師の教育プログラムの充実を目的として、京都大学や滋賀医科大学の医師によるゲノム医療講義を開始しており、意欲のある若手医師には当院臨床研究センター所属の医師（京都大学本庶佑研出身の基礎研究者）による演習（実際にデータベースにアクセスして、ゲノム解析を行う）も予定しています。

当院の専攻医には、日本の医療を支えるリーダーに育ててほしいと心より祈念しています。そのためには、臨床医として患者さんやご家族に寄り添い、常に最先端の医療知識を身に着け、科学的な視点でものを考える、Physician scientistも目指してほしいと思います。是非、当院で我々と一緒に働きましょう。

内科専門研修プログラム

プログラム責任者 山本 泰三



当院は都道府県がん診療連携拠点病院であり、がんについて豊富な症例と数多くのセミナーを経験できます。がんに関する教育、予防、診断、治療、緩和ケア、支援体制も充実しています。

虚血性心疾患、脳卒中、糖尿病などがん以外の生活習慣病についても、各分野の専門医や指導医が在籍しており、予防から侵襲的治療までを幅広く、深く経験することが可能です。その他の内科疾患についても、研修手帳に定める70疾患群を網羅的に研修することが可能です。多職種によるチーム医療も活発に行われています。

当院での研修を活かし、今後さらに重要性が増す生活習慣病の subspecialty の専門医として、あるいは幅広い知識・技能を備えた generalist の内科専門医になれるよう頑張ってください。

本プログラムは、当院を基幹施設として、滋賀県湖南医療圏、近県の医療圏の連携施設で構成されています。専攻医は、超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じて柔軟性のある地域の実情にあった実践的な医療も行えるように訓練を積んでいただきます。研修期間は、連携施設での1年間の研修を含めた3年間が原則です。

耳鼻いんこう科専門研修プログラム

プログラム責任者 藤野 清大



当院は滋賀県湖南医療圏の中核的病院として地域の高度医療を担ってきました。耳鼻いんこう科については、耳、鼻、咽喉頭、頭頸部腫瘍と全領域において症例数が多く、専門医取得に向けて十分な症例が経験できます。2017年からは頭頸部腫瘍をより重点的に治療する目的で頭頸部腫瘍センターを開設し、口腔外科、形成外科、放射線治療科、緩和ケア科と協同で遊離皮弁を用いた再建手術などの高度な手術や放射線治療を含めた集学的治療をより円滑に施行できるような体制を整えました。これにより滋賀県の広い地域から頭頸部腫瘍の患者さんが集まるようになりました。

またこれまで当院は成人の患者さんを治療しており、小児の患者さんは隣接する滋賀県立小児保健医療センターで治療を行っていましたが、2025年からは両院が合併し、全年齢層の患者さんを治療出来るようになります。

当院の耳鼻咽喉科専門研修プログラムは、4年の研修期間のうち概ね2年を当院で、1年を京都大学医学部附属病院で、1年をそれ以外の病院で研修してもらうこととなります。手術は極力執刀してもらっており、外来診療も1年目から担当してもらいます。まず経験してもらうことをモットーに、どんどん現場で修練を積んでもらいます。今までの例では専門医取得に必要な経験症例数4年分を、概ね2-3年で充足できています。是非当プログラムに入ってくださいませよう、意欲のある方の応募をお待ちしております。

麻酔科専門研修プログラム

プログラム責任者 疋田 訓子



当院は滋賀県における都道府県がん診療連携拠点病院であるため外科系ほぼ全ての診療科が揃い、今後隣接する小児保健医療センターとの合併後は小児症例も充実します。幅広い症例や心臓血管外科をはじめとするさまざまな緊急手術を担当するとともに、全身麻酔だけでなく脊髄も膜下麻酔や硬膜外麻酔、神経ブロックなどさまざまな麻酔法を実践を通じて学び、どのような症例でも対応できる麻酔科医の育成を目指しています。専門医取得に必要な産科症例は連携施設にて研修し、希望に応じて移植外科手術（肝移植、肺移植、腎移植）、小児開心術などの高度医療における麻酔はプログラム連携病院である京都大学医学部附属病院にて研修することが可能です。

サブスペシャリティ領域においてペインクリニック部門では外来診療に加え、神経ブロックを中心に緩和ケアメンバーとして緩和医療に携わっており、希望者はペインクリニック外来を経験することができます。また当院における集中治療部を担当していることから研修後半においてはICU当直ローテーションに入ってください術後症例や重症症例の集中治療を経験します。さらなる研修を希望される場合は集中治療専門研修施設との連携を行いローテーションに組み込むことができます。

これまで当院から麻酔科医を志し、活躍されている先輩方が多くおられます。働き方改革に沿った勤務時間を可能な限り厳守し、充実した研修をお約束いたしますので1人でも多くの先生のお越しをお待ちしています。